ひと

新企画の鎌倉彫印鑑が好評の印章店

月野（つきの） 允裕（みつひろ）さん

鎌倉市御成町に店を構える「鎌倉はんこ」の代表。「鎌倉らしい印章を」と、伝統鎌倉彫事業協同組合と協力して昨年10月売り出した「鎌倉彫印鑑」が好評だ。

「脱はんこ」という逆風のなか、「はんこの文化や歴史を伝えることによって新たなマーケットを切り開ける」と確信、3月から体験教室を開講するなど「はんこ文化」発信に力を入れる。

持ち手部分に文様を彫り、漆を塗った鎌倉彫印鑑の価格は約24,980円から。ちょっと高価ながらもすでに24本売れた。「購入者の多くは、鎌倉彫に愛着を持つ鎌倉の方々だが、同時に、しっかりとしたはんこを持ちたいという人が増えていると肌で感じた。

祖父が奈良で、父が大阪で印章店を営んでおり3代目となる。大阪で生まれ育ち、IT企業に就職し神奈川県へ。システムエンジニアとして10年ほど働いた後、実家に戻り2年ほど父の店を手伝った。そこで「単に売るのではなく、はんこの持つ意味を踏まえながら商売をしなければ」という思いが出てきた。文化と歴史のある街で印章店を営もうと、2015年独立し、鎌倉で開業した。

店は妻と2人で経営。2人とも印章彫刻技能士の国家資格を取得している。今は美大で彫刻を学んだ妻が主に印章彫刻の仕事を担い、自身は企画・経営に注力している。

「デジタル化の恩恵を受けてきた人間なので、効率化は理解できる。かといって単純にはんこをなくしていいとも思わない」「押印には自分の気持ちは絶対変えないという決意が込められている」と、はんこの重要さを熱く説く。今気にかかるのは、婚姻届けの押印が不要になるかもしれないことだ。「事務効率化とは無縁でしょ」と力を込める。

啓蒙活動の重要性を痛感する。体験教室はその主要発信源。向かいのビルに店舗を借り、教室名も「月野印房」と決めた。伝統鎌倉彫事業協同組合と再びコラボして市内の神社のご朱印を鎌倉彫で作る構想も練っている。地元誌には「はんこものがたり」を連載し始めた。

自宅は大町。小4の長男を筆頭に2男1女の父。趣味は釣り。2人の男の子が魚好きで付き合って江の島などに釣りに行っているうちに「はまってしまった」（笑）。八幡様のラジオ体操にもよく行っている。41歳。

（文・写真　三浦準司）

いざっ!! 鎌倉てらこや (73)

オンラインへの挑戦

鎌倉てらこや事務局　豊田　晋

1月8日、日本政府から神奈川県を含む1都3県へ2度目の緊急事態宣言が発令された。政府からの声明や感染者の増大により医療が逼迫している状況を鑑み、鎌倉てらこやでは子どもたちと全ての対面する活動を自粛することにした。

昨年6月に1度目の緊急事態宣言が解除され、対面

やたまりば」の様子

子どもたちはどう感じているだろうか。現状では学校の休校要請は出されていないが、いつ収束するのかしている間にも子どもたちの日常は過ぎ去っていく。

そこで鎌倉てらこやでは、対面で子どもたちに会えない間はオンラインに場を移し、活動を継続していくことを決めた。既にこれまでの活動で学生が訪問した鎌倉市のいくつかの学童保育施設からオンラインプログラムを実施してほしいとの依頼をいただいている。

オンライン会議システムを用いて子どもたちと大学生が一緒にゲームやおしゃべりをする「てらこやたまりば」を開催した。

わらない。受験勉強の合間に、大学生とのおしゃべりを楽しみに活動へ参加し続けていた中学生の女の子がいる。オンラインへと活動が移ったとしても、その子の話に耳を傾けることはできる。勉強を頑張るその子に励ましのエールを送ることもできる。

子どもたち一人ひとりの声に耳を傾け、状況に合わせた関わりを届けていくことは活動の形態がオンラインに移っても同じだ。子ども

建築士の仕事展・鎌倉

10日からウェブ配信

「建築士の仕事展・鎌倉2021」と題して、2月10日から3月31日まで鎌倉の建築士の仕事が初のウェブ配信される。

コロナ禍で社会の動き方が大きく変化する中、建築士のあるべき姿にも変化が求められるという認識を基に、神奈川県建築士事務所協会鎌倉支部（森安啓司支部長・会員約40人）が企画。

例年、市内の会場で建築士事務所の仕事をパネル展示などで紹介しているが、今年はウェブ展示することで新たな姿勢と可能性を市民に伝える。

会員が関わった設計、施工、相談、診断等の活動の場所・地域をマークした鎌倉市全域地図（しごとマップ）を作成し、支部会員の活動を伝える画像を配信する。

問い合わせ前砂方☎0467・44・7741

歌壇選者に木村雅子さん

鎌倉朝日歌壇の選者を2月から木村雅子さんが担当します＝写真下。

木村さんは1948年

☆鎌倉市倫理法人会 通信

いざ鎌倉！ (66)

成功への出陣

歴史と伝統のある鎌倉を梁山泊に！

セミナーや講演会へのお誘い

「企業に倫理を、職場に心を、家庭に愛を」をスローガンに、倫理法人会は、全国約7万社の会員企業が「純粋倫理」に根ざした倫理経営を学び、実践し、その輪を拡げる活動に取り組んでいます。

鎌倉市倫理法人会は、県内22単会の一つとして、経営者モーニングセミナー、活力朝礼、倫理講演会などの活動を行っています。

1月12日のモーニングセミナーでは、面白法人「カヤック」代表取締役CEO柳澤大輔さんが、「地球から新しい資本主義を考えよう～鎌倉資本主義の実例」を題に講演しました。緊急事態宣